



歴史館だより 令和4年初夏号 Vol.14

発行：出水麓歴史館 鹿児島県出水市麓町10番39号 0996-68-1390

驚きの新発見が続々！—企画展「西南戦争と出水」の開催について

「出水にもこんなにたくさん西南戦争の記録が残っていたとは……！」

コロナはまだまだ心配ですが、出水麓歴史館では西南戦争に関する2つの企画展を、5～9月の4か月間にわたって並行して開催します。今まであまり知られていなかった新発掘の情報が満載です。コロナ対策をしっかりと行ったうえで、ふるってご来館ください。

企画展「西南戦争と出水—史料が語る矢筈岳・出水麓の攻防戦」

併設展「錦絵が伝えた西南戦争」

西南戦争は明治10年(1877年)、今から145年前に西郷隆盛以下、明治政府に不満を持つ鹿児島県下の士族(江戸時代の武士)たちが起こした大規模な戦争です。福岡、熊本、大分、宮崎など九州各地の士族も加わり、3万人以上の西郷軍が対立する明治政府の6万人以上の軍隊と7か月間にわたって戦いました。

戦場は、熊本城を皮切りに熊本県下ほぼ全土、宮崎、大分そして鹿児島県下の各地に及びました。

この戦争は両軍合わせて1万3千人以上が戦死し、西郷軍の敗戦で終結しましたが、これにより日本の中央集権体制が確立し、以降の日本の近代化、国力の増進につながったとされています。

日本史上の重大事件であり、したがって当館が取り上げるテーマとしては大きすぎるように思われます。しかし、出水でも西南戦争が戦われたことは間違いありません。また、各地の戦闘で亡くなった出水の青壮年男子も100人を超えています。ここ出水麓にとっても重大な事件であり、その痕跡はいまでもいたるところに残っているのです。

このような認識の下、今回は、西南戦争を真正面から取り上げるのではなく、出水にとっての西南戦争はどんな意味があったのかを考えていただくきっかけとして、5月後半の矢筈岳の攻防戦や6月11日の出水麓における攻防戦など、史料に基づいてわかりやすく紹介します。

今年の夏は出水麓を散歩がてら、「出水でも起きた日本史上の重要な事件」について、ご一緒に振り返ってみませんか。

(次ページに展示の概略を紹介しています。)



企画展のご案内



企画展『西南戦争と出水 — 史料が語る矢筈岳・出水麓の攻防戦』

期間：令和4年5月19日（木）～令和4年9月20日（火）9：00～17：00

場所：出水麓歴史館 多目的室

* 毎月第3水曜日は休館日 * 館内燻蒸のため、7月21日（木）～22日（金）は臨時休館します。

観覧料：無料（常設展の見学およびVR体験は有料です。）



さて、左の船は名前は何で、西南戦争とどんな関わりがあるのでしょうか？

実は、「第二丁卯（ていぼう）」という幕末の頃長州がイギリスに発注した軍艦で、明治中期まで海軍の砲艦として使用されていました。写真は明治10年（1877年）ごろのもので、同年5月29日の政府軍の矢筈岳一帯の総攻撃の日には、米ノ津

沖から出水の沿岸地域を激しく砲撃しました。この砲撃で加紫久利神社の本殿が全焼し、貴重な古文書も焼失してしまいました。出水にとっては憎き軍艦だったはずですが、これまでその正体を示す史料を見ることはあまりなかったように思われます。

このほか、政府側の電信記録をひもとくと、出水守備隊との生々しい攻防戦の実態が浮き彫りになってきます。こうした新情報を中心としたパネル展示で、“出水についての西南戦争”の真実に迫りたいと思います。

併設展『錦絵が伝えた西南戦争』（期間、会場は上記企画展に同じ）

明治10年（1877年）当時、新聞報道は始まったばかりで写真記事もない時代でした。錦絵の特長は何ととっても絵描きの好きなように描けるということです。そのために主な読み手である庶民の要望に沿うように自然に派手な図柄になっていったようです。最たるものは西郷軍の女隊。女隊が錦絵に登場すれば売れる、売れる！版元は美人画で有名な錦絵作家にあでやかな女戦士を描かせて、大儲けをしていたようです。

さて、今回は国立国会図書館が収蔵する錦絵のデジタルデータを当館で再現し、三枚組に再構成して展示するものです。当時の特徴的な文化・芸術作品として鑑賞していただくことも可能ですが、当時の人びとの



「西郷さんびいき」の情感などもよく伝わってくる貴重な史料でもあります。西南戦争を知るよすがとして、軽いノリで楽しんでいただければ幸いです。

フォトギャラリー（本館の活動紹介）



東出水小学校3年生と4年生。歴史館、竹添邸、税所邸を各班ごとに見学！歴史館では山田昌巖地頭を学習しました。



VRゴーグルで”ぐるっと出水”。出水の春夏秋冬バージョンも追加♪出水の代表的観光地を360°カメラで体験！英語、韓国語、中国語にも対応しています。



着物体験で来館してくれた小学生の男の子とお母さん。男の子は着物にブーツ！似合ってますね！

歴史発見

スクープ▶ 西南戦争のきっかけとなった いわゆる「西郷シサツ団」の貴重写真が見つかる！

この4月、個人からいただいた貴重な写真です。写っている21人は明治10年（1877年）2月の初めに鹿児島県警察当局に拘束され、拷問により「西郷暗殺」の自白を強要された東京警視局の警部や巡査たちです。3月12日にからくも救出され、全員東京に戻ってきましたが、拷問のために体には異変を抱えた人も多かったそうです。



その頃に撮られたと思われるこの写真には、写真をご提供いただいた関係者の御先祖にあたる、野間口兼一警部（当時）も写っています（後段左から3人目、前段右端に中原尚雄）。

なぜ拷問を受けたのかというと、明治9年（1876年）の秋以降、西郷さんを師と仰ぐ鹿児島県下の私学校党と日本の近代化を急ぐ大久保さん中心の日本政府とが完全に対立してしまったからです。私学校が実権を握った鹿児島では警察も私学校の影響下にあり、まるで独立国家のように振る舞っていました。そこで私学校党の動きを探索し、挙兵の動きを妨害するために彼らが密かに送り込まれました。しかし、それが逆に私学校党の怒りを買って、「西郷暗殺」の自供を強要されてしまったのです。そしてその自供こそが、西郷軍の決起の理由とされたのです。

イベント結果の発表！

「VRでGO! クイズに答えて目指せ、出水の地頭!!」

出水麓歴史館では、VR（仮想現実）のライドマシ
ーン導入一周年記念イベントとして「VRでGO!
クイズに答えて目指せ、出水の地頭!!」を今年3月に開催しました。

参加者は、ライドマシンの操作方法や出水麓のトリビアなどに関する20問のクイズに答える
と、それぞれの成績に応じた「称号」と景品を受取ることができました。老若男女37名の皆
さんにご参加いただき、盛大かつ無事に終了することができました。写真は、春休みで出水に
来ていた中学生の愛実さんと従姉のみなみさん。大変よく頑張りましたね。いい思い出になっ
たかな！



あとがきに代えて ----- 出水麓の植物③



竹 イネ目イネ科タケ亜科

武家屋敷群の空高く、真竹や孟宗竹がキラキラと輝く夏がもうすぐや
ってきます。竹は昔から鹿児島の特産品で、今でも竹林の面積は日本一
です。真竹やこさん竹は古くから南九州に自生していたようですが、孟
宗竹はサツマイモと同様に江戸時代の薩摩藩にやってきた比較的新しい
品種です。当時は貴重な戦略物資だったようです。

ところで突然ですが、竹は木の仲間？それとも草の仲間でしょうか？

答は草の仲間です。より正確にはイネの仲間です。茎
の内部がどちらも空洞で結実した時の実の形が似ているため、イネ科に含まれるそうです。

竹の場合、花が咲くのは120年に一度といわれるように普段は花や実を見かけることはほと
んどありません。ちなみに孟宗竹は67年に一度開花して枯れるそうです。しかしデータが少な
いため、いまだに寿命の確定ができないのだそうです。不思議な気がします、じつは竹には
木と違って年輪がないので寿命の測定ができないのだとか！多年草といっても67年、120年の
長寿命だと調べるほうも大変ですね。

そんな変わった植物のせいかユニークな性質がたくさんあるので、竹は出水麓でも様々な用
途に活用されてきました。竹にまつわる面白いお話もたくさんあります。もっと聞きたかったら
出水麓に遊びに来てくださいね！